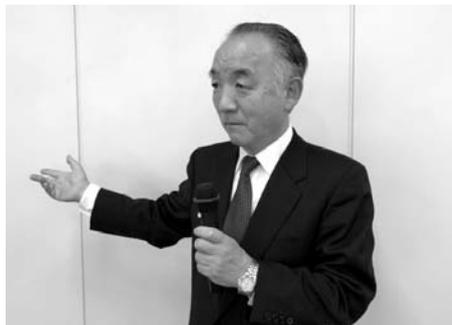

敬愛大学総合地域研究所 第11回公開シンポジウム報告

災害に強いまちづくり

近年の自然災害から学ぶ



開会挨拶：水口 章（敬愛大学総合地域研究所所長・国際学部教授）

趣旨説明：根本 敏則（敬愛大学経済学部教授）

はじめに

水口 本日はお忙しいところありがとうございます。これより、敬愛大学総合地域研究所のシンポジウム2020を開催いたします。私は本研究所の所長を務める水口と申します。本日の進行役も兼ねますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

開催にあたりまして、こういうコロナ禍の中で、会場においでいただいた皆さまにお礼を申し上げます。また、本日は300名を超える国内外の方がYouTube上からこの中継をご覧になっていただいています。本当に心からお礼を申し上げたいと思います。

それでは根本さんに、本日のモデレーターをお願いしたいと思います。

根本 まず、本日のシンポジウムのねらいをご説明したいと思います。

「災害に強いまちづくり」というテーマを設定しましたが、その背景として災害の激甚化があります。水害では千葉県で昨年、台風15号、19号が大きな被害をもたらしました。マスコミで「今までに経験したことのないような雨や風」というような言葉を頻繁に聞くようになりました。地震に関しては東日本大震災があったわけですが、首都直下型地震や南海地震も現実味を帯びております。また、今年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっております。同じような感染症が繰り返して発生すると言われております。

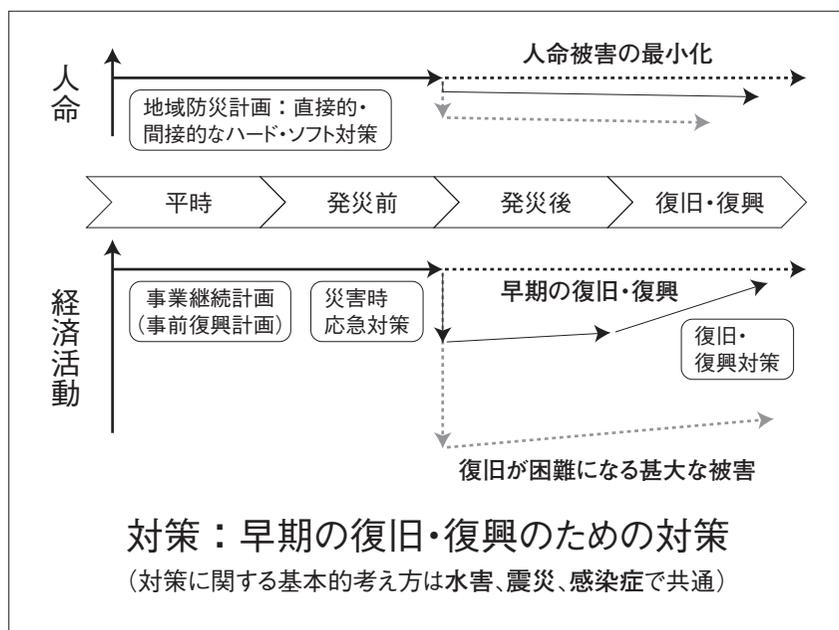
災害が起きた時に、人命被害を発生させない対策ということでは、ハードの直接的な対策、例えば、堤防を造る、防波堤を造るということも有効なわけですが、これが十分ではないということはわかってきました。そこで間接的なハード対策、例えば、二線堤

敬愛大学総合地域研究所シンポジウム2020: 災害に強いまちづくり

背景：災害の激甚化

	近年の例	激甚化の要因
水害	2019年台風15号、19号 2020年7月豪雨	地球温暖化による降雨量増加、今後さらに平均気温は上昇
震災	2011年東日本大震災 2016年熊本地震	レベル2(1000年に1回の頻度)の地震発生、首都直下・南海海地震の現実味
感染症	1918年スペイン風邪 2020年新型コロナ	新型コロナ蔓延中、熱帯雨林開発・経済グローバル化でウイルス封じ込め困難

スライド 0-1



スライド 0-2

が提案されています。これは1番目の堤防を越えても2番目の堤防で守ろう、水を田んぼや畑で受けて市街地に入れないようにしよう、という考え方です。さらに、ハード対策だけではとても間に合わないのので、ソフト対策として避難訓練、防災教育、あるいはハザードマップを利用して備える。あるいは、「危ない所には住まないようにしよう」というソフト対策も、必要になってきたところでもあります。

また、それらの対策を時間軸に沿って計画し、訓練し、実施していくことが重要です。例えば、事前に住民を巻き込んで、事前復興計画を策定しておけば、災害時の応急対策、

あるいは復旧・復興対策を効果的に実施でき、経済活動も早期に軌道に乗せることができると言われています。

ということで本日のシンポジウムですが、過去の災害のうち水害、震災を中心に、その被害状況を振り返り、被害が大きくなった要因、人命被害を発生させない対策、早期の復旧・復興対策を皆さんで考え、そして、災害に強いまちづくりに向けて自助・共助・公助の仕組みを議論していきたいと思っております。よろしく申し上げます。

みずぐち・あきら Akira Mizuguchi
ねもと・としのり Toshinori Nemoto

第11回公開シンポジウム 「災害に強いまちづくり——近年の自然災害から学ぶ」

令和2年11月13日(金) 13:30～17:00 (オンライン開催)

於 バリエ千葉 バリエホール

〈プログラム〉

開会挨拶：水口 章（敬愛大学国際学部教授）

はじめに 「災害に強いまちづくり——近年の自然災害から学ぶ」

趣旨説明：根本 敏則（敬愛大学経済学部教授）

講演 ① 「令和元年の災害と教訓」

講演者：河南 正幸（千葉県県土整備部長）

講演 ② 「千葉市の災害に強いまちづくり」

講演者：相楽 俊洋（千葉市総務局危機管理監）

講演 ③ 「災害時の地域での連携について」

講演者：水口 章（敬愛大学総合地域研究所所長・国際学部教授）

講演 ④ 「東日本大震災の伝承ネットワーク」

講演者：矢口 和宏（敬愛大学経済学部教授）

報告 ① 「災害復旧における官民の役割——液状化災害のケース」

報告者：石井 一郎（敬愛大学客員研究員〔前浦安副市長〕）

報告 ② 「災害ボランティアを通じて学んだこと——敬愛大学生のケース」

報告者：藤森 孝幸（敬愛大学地域連携センター室長）

討 論

パネリスト：講演者・報告者全員

モデレーター：根本 敏則（敬愛大学経済学部教授）